

<一般演題プログラム>

■口述演題 A 「調査・研究 1」

10月18日(土) 15:00~16:20 第1会場(221教室)

座長 日浦 伸祐：社会医療法人大道会森之宮病院リハビリテーション部

- A-1 脳性麻痺児における歩行時の筋活動および Synergy に対するリズム聴覚刺激の効果
～非不値行列因子分解 (NNMF) により抽出した Synergy を用いた検討～
橋口優^{1,2}・大畑光司¹・北谷亮輔^{1,2}・阿河由巳¹・大迫小百合¹・正木光裕¹・山田重人¹
¹京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻・²日本学術振興会特別研究員
- A-2 整形外科手術と術後理学療法を行うことで脳性麻痺児の粗大運動機能は改善する
阿部広和¹・吉岡明美¹・白子淑江¹・神原孝子¹・花町芽生¹・碓井愛¹・根本菜穂²・
平良勝章²
¹埼玉県立小児医療センター保健発達部・²埼玉県立小児医療センター整形外科
- A-3 脳性麻痺児整形外科手術の状況調査
～9年間を振り返って～
鈴木奈恵子¹・松波智郁¹・廣田とも子¹・翠川麻理絵¹・鳴海豊¹・岩島千鶴子¹・脇口恭男¹・
安藤加奈子¹・安田紀子¹・町田治郎²
¹神奈川県立こども医療センター発達支援局理学療法室・
²神奈川県立こども医療センター副院長整形外科部長(兼)
- A-4 脳室周囲白質軟化症による痙直型両麻痺児に対するリハビリテーションの長期効果
島恵¹・鳥瀬義知¹・荒井洋²
¹森之宮病院リハビリテーション部・²森之宮病院小児神経科
- A-5 画像解析法を用いた脳性麻痺児に対するボツリヌス治療後の歩容変化
松田真由美¹・富田和秀²・岩崎信明³
¹茨城県立医療大学附属病院リハビリテーション部・
²茨城県立医療大学保健医療学部理学療法学科・³茨城県立医療大学附属病院小児科
- A-6 ボツリヌス治療前後における立位時の身体重心及び足圧中心動揺の変化
～脳性麻痺児2例による検討～
小林佳雄¹・小川智美¹
¹千葉県千葉リハビリテーションセンター
- A-7 ボツリヌス治療前後における立位時の足圧中心動揺の時間的パターンの抽出
～脳性麻痺児2例による検討～
小林佳雄¹・小川智美¹
¹千葉県千葉リハビリテーションセンター
- A-8 成人アトーゼ型脳性麻痺者における GMFM および GMFCS の使用
佐藤優¹・横井裕一郎²・吉田順一³・中川亜里沙³・石山輝一³
¹登別市児童デイサービスセンターのぞみ園・²北海道文教大学人間科学部理学療法学科・
³北海道社会福祉事業団福祉村

■口述演題 B 「症例報告 1」

10月18日(土) 15:00~16:20 第2会場(321教室)

座長 齋藤 大地：訪問看護ステーションはこぶね

- B-1 特別支援学校における教育的効果
～アテトーゼタイプ脳性まひ児への関わりから～
小玉美津子¹
¹神奈川県立麻生養護学校
- B-2 18トリソミー児の訪問リハビリの経験
川野琢也¹・和田聖子¹
¹和歌山つくし医療・福祉センター
- B-3 大腿骨骨折を受傷した肢体不自由児 1 例への特別支援学校における支援
五十川純矢¹
¹札幌市立豊成養護学校
- B-4 当院における人工呼吸器使用児に対する退院前訪問指導について
～新生児病棟から在宅へ向けての多職種連携～
小杉正¹・島崎麻未¹・榎本有希¹・樺篤²
¹高槻病院技術部リハビリテーション科・²高槻病院診療部リハビリテーション科
- B-5 保育所への通所が身体機能および社会性に対して効果的であった精神運動発達遅滞児についての一考察
森下誠也^{1,2}・坂本吏沙¹・臼井大介³
¹医療法人臼井会田野病院リハビリテーション部・
²高知大学大学院人間総合自然科学研究科医科学専攻・
³医療法人臼井会田野病院診療部小児科
- B-6 訪問理学療法により運動機能と全身状態が向上した就学前の 2 症例
山本翔太¹・萱原康人¹・横井裕一郎²
¹医療法人ひまわり会札幌病院リハビリテーション療法部・
²学校法人鶴岡学園北海道文教大学人間科学部理学療法学科
- B-7 重度意識障害を呈した突発性小児脳出血の理学療法経験
宇治川恭平¹・唐牛大吾¹・守屋正道¹
¹日本大学医学部附属板橋病院リハビリテーション科
- B-8 父親に対する呼吸理学療法指導の経験
～在宅人工呼吸器を必要とした低酸素性虚血性脳症児～
背戸佑介¹・大木茂²
¹聖隷浜松病院リハビリテーション部・
²聖隷浜松病院総合周産期母子医療センター新生児科

■口述演題 C 「ハイリスク新生児」

10月18日(土) 15:00~16:20 第3会場(322教室)

座長 北原 エリ子：順天堂大学医学部附属順天堂医院リハビリテーション室

- C-1 脳低温療法施行例へのブラゼルトン新生児行動評価の検討
神原孝子¹・吉岡明美¹・阿部広和¹・白子淑江¹・花町芽生¹・碓井愛¹
¹埼玉県立小児医療センター保健発達部
- C-2 超・極低出生体重児に対する哺乳評価と修正6ヶ月児発達の関連
儀間裕貴^{1,2}・木原秀樹²・渡辺はま¹・中村友彦²・多賀巖太郎¹
¹東京大学大学院教育学研究科・²長野県立こども病院
- C-3 気管無形成のためNICU病棟への入院を要した症例への理学療法
矢野生子¹・小林弘明¹・中村文乃¹・大畑光司²
¹岐阜県総合医療センター中央リハビリテーション部・
²京都大学大学院医学研究科人間科学健康系専攻
- C-4 新生児における脳波・筋電図を利用した皮質脊髄路の機能的評価
金沢星慶^{1,4}・河井昌彦¹・木内隆裕²・岩永甲午郎¹・美馬達哉³・平家俊男¹
¹京都大学大学院医学研究科発達小児科学講座・²森ノ宮医療大学保健医療学部・
³京都大学大学院医学研究科高次脳機能研究センター・⁴日本学術振興会特別研究員
- C-5 反り返りやすい児の新生児期に理学療法を介入した事例
草間かおり¹
¹長野県立こども病院
- C-6 新生児仮死を伴う低酸素脳症児のNICU入院中の1症例
守屋正道¹・宇治川恭平¹・唐牛大吾¹
¹日本大学医学部附属板橋病院
- C-7 当院におけるLate pretermの運動発達の経過
島崎麻未¹・小杉正¹・榎本有希¹・樗篤²
¹高槻病院技術部リハビリテーション科・²高槻病院診療部リハビリテーション科
- C-8 当院NICUにおける理学療法対象者の選別に関する検討
佐藤郁恵¹・北山謙一郎¹・仙石英嗣¹・宮城島沙織²・小塚直樹³
¹北見赤十字病院リハビリテーション科部・
²札幌医科大学附属病院リハビリテーション部・
³札幌医科大学保健医療学部理学療法学科理学療法第一講座

■口述演題 D 「調査・研究 2」

10月19日(日) 9:00~10:20 第1会場(221教室)

座長 門馬 博：杏林大学保健学部理学療法学科

D-1 健常児における静的立位とタンデム立位の重心動揺と筋活動パターンの特徴

石本壮星¹・伊藤慎吾¹

¹山梨勤労者医療協会石和共立病院

D-2 脳性麻痺児の運動能力と問題行動の関連性

上杉雅之¹・大谷啓尊¹・藤井瞬¹・後藤誠¹・南場芳文¹・井上由里¹

¹神戸国際大学

D-3 重度脳性麻痺患者における自宅でのおもちゃ使用時の問題点と今後の課題

楠本泰士¹・黒川洋明²・加藤真希²・深澤宏昭³・長谷川大和⁴

¹東京工科大学・²島田療育センターはちおうじ・³相模原療育園・

⁴地域療育センターあおば

D-4 重症心身障害者の股関節脱臼と関節可動域の関連性

～3次元座標軸による脱臼方向と関節可動域の関係～

寺尾貴史¹・古谷育子¹・上田綾子¹・森下亮¹・河島猛¹・川口悟¹・藤原真紀子¹・高橋知之²・

平井二郎³

¹独立行政法人国立病院機構兵庫青野原病院リハビリテーション科・

²独立行政法人国立病院機構兵庫青野原病院放射線科・

³独立行政法人国立病院機構兵庫青野原病院外科

D-5 染色体・遺伝子異常を持つお子さんの運動発達的特徴

～健常児ならびにダウン症児との比較～

和泉裕斗¹・小林千絵里¹・金田実¹

¹北海道立子ども総合医療・療育センター

D-6 脳性まひ者7人制サッカーチームへのサポートを通して

～保護者へのアンケートから～

網本さつき¹・神一世子²

¹昭和大学藤が丘リハビリテーション病院・

²特定非営利活動法人 CP サッカー&ライフエスペランサ

D-7 Life Inventory to Functional Evaluation (LIFE) の検者間信頼性について

榎勢道彦¹・中徹²

¹富田林障害児者医療福祉センター四天王寺和らぎ苑・²群馬パース大学

D-8 脳性麻痺(痙直型両麻痺児)のアンケート調査

～立位・歩行練習が学童期の移動手段や日常介助量に与える影響～

岡田泰子¹・町田浩樹¹

¹社会医療法人大道会森之宮病院

■口述演題 E 「症例報告 2」

第 2 日目 10 月 19 日 (日) 9:00~10:20 第 2 会場

座長 大畑 光司：京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻理学療法学講座

- E-1 痙直型脳性まひ児の耳介瘡に関する一考察
～瘡ケアしているのに悪化させた反省より～
花町芽生¹・吉岡明美¹・白子淑江¹・神原孝子¹・碓井愛¹・阿部広和¹
¹埼玉県立小児医療センター保健発達部
- E-2 気道クリアランスに問題を抱えた 24 時間人工呼吸器を装着している重症心身障害児 1 例に
対する MI-E(Mechanical In-Exsufflator)の使用経験について
岡田雄一¹・中嶋靖潤¹・泉谷憲正¹・榎勢道彦¹・木村百合¹・増田加奈¹・榎勢昭子¹・
留河誠¹・原田瞬¹
¹富田林障害児者医療福祉センター四天王寺和らぎ苑
- E-3 先天性声門下狭窄症の増悪により低酸素性虚血性脳症を合併した患児の理学療法経験
唐牛大吾¹
¹日本大学医学部附属板橋病院リハビリテーション科
- E-4 ボツリヌス療法と理学療法により独歩可能となった脳性麻痺児の一例
西村美希¹・中村由紀江¹・平島淑子¹・二見徹¹
¹滋賀県立小児保健医療センターリハビリテーション科
- E-5 症例報告：思春期から成人移行期の脳性麻痺者の移乗機能の維持に向けた取り組み
黒川めぐみ¹・中島るみ¹・大川敦子¹・鈴木恒彦¹
¹南大阪小児リハビリテーション病院
- E-6 身体抑制と運動発達に関する一考察
～メチルマロン酸血症により脳障害を呈した症例～
川島瞳¹・大久保浩子¹・小倉百合²・柳澤瞳¹・神田あゆみ¹・上出杏里¹・橋本圭司¹
¹国立成育医療研究センター・²国立病院機構神奈川病院
- E-7 midline 獲得が視知覚認知, コミュニケーションの発達に及ぼす影響
丸森睦美¹・高木由香¹・飛田孝行¹
¹東京小児療育病院
- E-8 小児骨肉腫患者に対するチームアプローチにおける理学療法士の役割
～化学療法と患肢温存手術を実施した症例報告を通して～
岩田香¹・三浦季余美¹・和多由里¹・加藤智美¹・北原エリ子¹・藤村純也²・高木辰哉³・
長岡正範⁴
¹順天堂大学医学部附属順天堂医院リハビリテーション室・
²順天堂大学医学部附属順天堂医院小児科・³順天堂大学医学部附属順天堂医院整形外科・
⁴順天堂大学医学部附属順天堂医院リハビリテーション科

■口述演題 F 「施設・連携・制度」

第2日目 10月19日(日) 9:00~10:20 第3会場

座長 多田 智美：鈴鹿医療科学大学保健衛生学部理学療法学科

F-1 重症新生児仮死に伴う脳性麻痺を呈した1例への在宅移行に向けての関わり

三上有紀¹

¹福岡新水巻病院

F-2 ネマリンミオパチー在宅生活患者の支援方法の検討

～本人家族を中心にした支援者の関わり方・連携方法の検討～

曾我辺加渚¹

¹社会医療法人財団池友会福岡新水巻病院

F-3 理学療法士と肢体不自由特別支援学校教員の連携に関する調査 第2報

～理学療法士、特別支援学校教員各々の観点から～

大矢祥平¹・宮原なおみ¹・井上裕次²・酒井潤一³・武田知仁⁴・川間健之介⁵

¹千葉リハビリテーションセンターリハビリテーション療法部小児療法室理学療法科・

²東京衛生学園専門学校リハビリテーション学科・

³総合高津中央病院リハビリテーション部・⁴横浜平成会平成横浜病院・⁵筑波大学人間系

F-4 呼吸理学療法時の理学療法士による病棟でのサクシオン実施について

～病棟の看護師の意識調査～

西部寿人¹・高島朋貴¹・金田実¹・續晶子¹

¹北海道立子ども総合医療療育センター

F-5 東京都小児リハビリテーションマップの紹介

黒川洋明¹・楠本泰士¹・豊田利郎¹・浅倉由紀¹・中野弘陽¹・川島瞳¹・加藤真希¹・

安藤右子¹・石橋哲弥¹・渡辺昌英¹

¹東京都理学療法士協会小児福祉部

F-6 東京23区における訪問リハビリの現状

中野弘陽¹・仙波夏妃¹・高橋奈美¹・後藤晴美¹・小林明弘¹

¹訪問看護ステーションそら

F-7 大人になった障がい児に対する地域支援への取り組み

～障がい者施設職員対象の研修会を通して～

金坂一篤¹・高波博子¹・草薙香¹・大塚栄子¹・後藤達也¹・小林有貴¹・小川真実²・

東川暁子³・景山朋子³・染屋政幸⁴

¹千葉リハビリテーションセンターリハビリテーション療法部小児療法室・

²同センター看護部・³同センター児童発達支援センター・⁴同センター診療部

F-8 当院における乳幼児期の肢体不自由身体障害者手帳申請に関する現状と課題

岩橋智史¹・北原エリ子¹・加藤智美¹・並木裕美¹・阿瀬寛幸¹・横山明子¹・長岡正範²

¹順天堂大学医学部附属リハビリテーション室・

²順天堂大学大学院リハビリテーション医学